

ID

氏名

年齢

科名

病棟

Rituximab 療法【CLL】

6 コース予定

疾患名 慢性リンパ性白血病

主治医 指導医 HBs 抗原(+ -) HBc 抗体(+ -) HCV 抗体(+ -)

スケジュール

		day1
リツキサン(リツキシマブ)	初回 375 mg/m ²	↓
	2 回目以降 500 mg/m ²	↓

【注意】*体温・脈拍・血圧測定・SpO2 測定は up 直前におこなうこと

*最大 6 コースまで

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

【初回】 *初回投与は必ず入院で実施

① イブプロフェン(100 mg) _____ 錠、デザレックス(5 mg) _____ 錠 内服

☆30 分後より

② 生食 500 mL にて血管確保 維持(20 mL/時間)

③ リツキサン + 生食 適量(10 倍希釈)

◎輸液ポンプにて 50 mL/時間で点滴静注

*注:総量 600 mL を超える時はテルモ生食1L を使用

④ 50 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎輸液ポンプにて 100 mL/時間で点滴静注

⑤ 100 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎輸液ポンプにて 150 mL/時間で点滴静注

⑥ 150 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎輸液ポンプにて 200 mL/時間で点滴静注

Rituximab 療法【CLL】

⑦ 200 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎輸液ポンプにて 250 mL/時間で点滴静注

⑧ 250 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎輸液ポンプにて 300 mL/時間で点滴静注

⑨ 300 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎輸液ポンプにて 350 mL/時間で点滴静注

⑩ 350 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎輸液ポンプにて 400 mL/時間で点滴静注

【2 回目以降】 第 1 サイクルにおいて発現した有害事象が grade 2 以下であった場合

① イブプロフェン(100 mg) _____錠、デザレックス(5 mg) _____錠 内服

☆30 分後より

② 生食 500 mL にて血管確保 維持(20 mL/時間)

③ リツキサン + 生食 適量(10 倍希釈)

◎輸液ポンプにて 100 mL/時間で点滴静注

*注:総量 600 mL を超える時はテルモ生食1L を使用

④ 100 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎輸液ポンプにて 200 mL/時間で点滴静注

⑤ 200 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎輸液ポンプにて 300 mL/時間で点滴静注

⑥ 300 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎輸液ポンプにて 400 mL/時間で点滴静注

	コース	コース	コース	コース	コース	コース
日 時	/	/	/	/	/	/
リツキサン 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確 認						